3
セックス・ファンタジー
SEX FANTASY
maco
原作 鏡遊
キャラクター原案 しおこんぶ

SEX
FANTASY
Cover Illustration
maco
Cover Design
Inako Yasushi[ERIDANUS]

わざわざ美少女が俺に会いに来てくれたんだから
歓迎したいくらいだ
……へぇ

第10話
maco
原作 鏡遊
キャラクター原案 しおこんぶ

セックス・ファンタジー
SEX FANTASY

CONTENTS

maco
原作 鏡遊
キャラクター原案 しおこんぶ
セックス・ファンタジー 3
SEX FANTASY

え？
天姫がシードに
会いに来た…？
私たちの殲滅が
目的じゃないのか？
ふふん
馬鹿だけど
馬鹿ではないみたいね
シード
そうよ
国を滅ぼすなら
互いに軍を率いた
戦場でないとね
だろうな
それが戦争
国同士の争いだってこと
くらいは俺にもわかる

あんたはもうちょっと泳がせるつもりだったんだけどねていうかシード
自分の重要性をもっと知っといたほうがいいわほとんどの魔衣姫に狙われてるんだから
それは楽しみだなぁ
さすがズレた反応ね…あたしもアティナに潜り込んであんたを狙ってたのよ？
そういえばあの有名な天姫が酒場でウェイトレスやってたんだよなぁ
あれはあれで新鮮で楽しかったわよあんたの観察もできたしね
俺見られてばっかだなぁ
そういえばリーシャもラクシアルも天姫を半年ほど見てないいって言ってたな

最終的には
シードを
確保するつもり
だったんだけど…
アリーシャ姫は
魔衣姫としては不完全でも
読みの鋭さと行動力は
たいしたものだわ
王女の身分で
簡単にシードを
受け入れちゃうのもね
カァ〜ッ
…し 知ってるん
ですか…！
それに
エルフの魔衣姫さんも
ずいぶん大胆なやり方で
シードを取り込んだもんね
自分の部下たちの
貞操を
全部捧げちゃうなんて
ドラ
ドラ
べ 別に取り込んだわけでは…
わ 私は状況を打ち破ろうと
しただけだ！
あと 気持ちいいことを
したかったなんてことは
絶対にないからな！
本当にアリーシャといい
ラクシアルといい
とんだチョロ姫と
チョロエルフだわ
誰がチョロエルフだ
姫

まったく…
すっかり先を
越されちゃったわ
天姫 あなたも
シードの能力を
利用しようと…？
最初は
名も無き英雄の血を
継ぐ者への興味だったわ
でも
今は違う
そんなことは
どうでもよくなったわ
少し驚いてはいるけどね
クイッ
こうもあっさりと
二人の魔衣姫を
手懐けるなんて
アティナとエルフ連合を
手中に収めたのと
同義よ
そ そこまでシードに
すべてを託すわけじゃ…
ないですよ…
わ 私が手懐けられても
エルフ連合が
シード殿のものに
なったわけじゃないぞ

シードの力が
侮れないってことは
よくわかったわ
だけど あたしには
魔衣姫二人を圧倒する力と
いつでも他国を滅ぼせる
兵たちがいる
ぐう…
反論できない…
だからシードの能力を
戦争に使うつもりなんか
ない それより…
あたしは
シードが欲しいの
それって
俺が好きってこと？

率直に聞いてくるわね！
その通り好きよ！
キミも率直だな！
ま 待ってください シードはクズ男ですよ そこがいい…
いえ 名高い天姫が好意を持つ理由なんてありますか？
そ そうだ こんな男を愛せるのはよほど変な性癖を持った女でもないとダメだろ！
あれ…俺の悪口言ってる？
あれは半年前

あたしが
シードと会って
間もないころ
さっきも言った通り
あたしはシードを
監視するために先回りして
アティナの街に
潜り込んで酒場で
働き始めたんだけど
あるときね
タチの悪そうな傭兵たちが
あたしに絡んできたの
まぁ酒場じゃ
よくあることだけど
あたしのお尻を
触ろうとしてきた傭兵を
シードが適当に
言いくるめて
追い払ってくれたのよ
好きに
なっちゃったわ

チョロいのは そなただ
あなたです!!
あっという間に終わったな!
あたしって子どものころから強かったから守られたこともなくて
初めてあたしを守ってくれた男がシードだったのよ
好きになっちゃったわ
最後がさっきの台詞と同じだな!
それに ね

きっかけは
それだったけど
あたしの見る目に
間違いはなかったわ

一万の軍隊を前にして
女のことしか
考えてない
それよ それがいいのよ

そういう
桁外れの馬鹿が
あたしは好きなのよ

俺がキミをものにする
二人は傷つけさせない
それが俺の選択だ
クイッ
…っ！
ちゅ
んっちょ
よぉッといきなりコ
ばっ

言っただろ
俺のものにする
って
このキスは
その誓いの証だ
よ よくもまぁ
恐れもせずに
あたしの初めてのキスを奪えるわね
そりゃあ
ツイてたな
……！
0と99
それらが交互に
表示されている
ここまで大きく迫った
数値が出るのは
見たことない

攻略可能なのか
不可能なのか
わからない
いいわ…
あたしを
屈服させられるもんなら
してみなさい
言っておくけど
あたしは欲しいものは
必ず自分のものに
するわ！
ズザッ
奇遇だな
俺もだ
俺もすべてを
手に入れる！
上等だわ！
!?

魔造箱庭(クラフトデックス)の中か…？
マスディニア皇宮のあたしの私室を再現してみたわ
ここが一番完璧に想像できるからねそのうち本物にも連れて行ってあげるわ
……女の子の部屋に呼ばれるのは光栄だな
それじゃ天姫…いやルーって呼んだほうがいいか？

あたしの真名はルフィア
ルーのほうが馴染みがあるなら
それでもいいわ
あ あっさり真名を教えるんだな…
じゃあ ありがたく真名で呼ばせてもらうか
ええ
真名を知られた程度じゃ
あたしは支配できないもの
別に問題ないわ
相変わらず天姫
ルフィアの進行度は
0か99
真名で呼べば
この不思議な状態を
変えられると思ったが
あたしを
屈服させるんでしょ？
本当にできるの？
いえ…
本気であたしを
抱くつもり？

そっちもそのつもりだからこの部屋に招待したんだろ？
見慣れたこの部屋なら少しは緊張が薄れるかもって思って…
ドキドキ
……
それは…そういうことするなら…そのやっぱり緊張するし…
世間では恐れられている少女なのだが…
緊張したりするのか…
先に言っておくけどあたしは初めてなんだからね
酒場女だからって変な誤解しないでよね！
酒場女じゃなくて皇女殿下だろ！
どっちも本当のあたしなの！
えーい こういうのは勢いが大事なのよ！
シード！好き好き!!
うおっ

ドキ
ドキッ
やわらか…
ああ やっと
このときが来たわ…
次回更新をお楽しみに！

今のあたしは魔衣姫も戦争も国も本気でもうどうでもいいのよ
もう止まらない!
恋に堕ちたらほかのことなんてどうでもいいの…
どうでもいいってことは アティナとエルフ連合のことも思い止まるってことか?
それは別よ
第10話 後編
セックス・ファンタジー
maco
原作 鏡遊 キャラクター原案 しおこんぶ
あんたを手に入れてからもちろん滅ぼしてやるわ容赦なくね
結局それはやるのか!
当たり前でしょ

あたしは何も
あきらめない
ヤバイ
これは本気だ
俺をここで
手籠にして
その上で
アティナと
エルフ連合を
薙ぎ払うつもりだ
それだけは
なんとしても
止めなければ…
事態が進行中なのに
数値に変化がないのは
おかしい
終わりに
近づいてるんだから
問題ないとも
言えるが…
んっちゅっ
んっ
ちゅっ
あれ？ あんっ
シードのここ…
もう硬くなっちゃ
ってるじゃないの

さっきまでエルフの魔衣姫とヤリまくってたくせに…
おおっ…
ボロンッ
あんっこんなに硬いの…？わっ大きくなって…
びくびくってしてるわ…ふわわ
回復早すぎよどうなってんのこれ……
さすさす
ぐぐっ
シードだいぶ喜んでるみたいじゃない…
シュコッ
シュコッ
シュコッ
それじゃ

こんなのはどう？
んっんっんんっ
ムギュッ
コス
コス
ココ…！
それと…
こんなのもいいでしょ？
んっ んむむ…んっ
んちゅ
んっ んむっ
んっ
…また大きくなってきてる
チュパッ
チュパッ
んっ んっ
チュパ
胸でこすりながらのフェラチオ！
ヤバい
こんなの…！
ルフィア…くっ ダメだ

あんっ！
んっ んんっ
んむむ
いっぱい出たわね…
でもまだ硬い
ままじゃない？
おお なんだか
ゾクゾクする…
でも…
でもな
あたしの中に…
入れたい？
このままだと
リーシャと
ラクシアルに
危険が迫る…

ルフィアの攻略進行度は…
さっきから99のほうが明らかに多い
ぴくっぴくっ
あぁ…そういうことか
キュパ
ギュぱっ
となれば光明も見えてくる希望はまだある
んっんっ
キモチイ？
今のルフィアは魔衣姫も戦争も国もどうでもいい
だったらその〝今〟を続けてやろう
ギュプッ
ギュプッ

ルフィアには
俺との性交しか
考えられないように
なってもらう…！
え？
スッ
な 何してるの？
シード？
ドイッ
俺は馬鹿だが
それでも
キミが初めてのくせに
無理をしてる
くらいはわかる
な 何を
言って
俺を攻略しようなんて
無理をしなくて
いいんだよ
0っていうのは
俺を好きだと
言ってくれた
無理をしていない
ルフィアの本心が
表示されたんじゃ
ないだろうか

いくら可愛くて胸がでかくてもそれだけじゃ俺には足りない
なで
酒場の女でも最強の魔衣姫でもない
一人の女の子ルフィアを抱きたい
ばっ ばか…！
にゃー
！

どうしてそんなに
あたしをドキドキ
させるのよー
あーん もうっ
うにゃーっ
にゃーとか
やけに可愛い声で
唸ってるぞ…
…考えてみれば
まだ十代の女の子
なんだよな
じゃあ…
もっとドキドキ
させようか
にゃ!?
これが最強帝国の
お姫様のパンツか!

バカじゃないの——ッ!?
あっ でもちょっと濡れてるな
くちゅっ
きゃんっ
んっ
あっあぁっんっ
くちゅっ
そんなっにっあんっ
あぁもうっまだるっこしい!
うにゃーー!?
ズルッ
ちょっ ちょっとそこは心の準備がいるのに!
おーっ すげー綺麗だなこれが最強帝国のお姫様の……
やぁっ
いちいち最強帝国いらないでしょ!

それはそれ
俺が言ってることは
お遊びみたいな
ものだと思って
あっあっ
そんなとこ…
舐めるなんて…
ジュルッ
ジュルルッ
あんたはっ
ああんっ
だ 誰にも
見られたことも
なかったのに…
あああんっ!
まっ こんなとこか
そろそろ
天姫の処女
もらっちゃおうかな
あたしを
いじめて
喜んでない!?
そりゃ最強の天姫を
俺のものにするには
ちょっとくらい
無茶をしないとな

ううっ ばかっ
どこがちょっとよ
そ そんなところ
舐めちゃって…
溢れて止まらなく
なっちゃった
じゃないの
ピクッ
!
こ こんな
恥ずかしい
格好で…
あんっ
あっ
あっ
痛いっ痛あっ
あっあっ
ああああああ

ルフィアの処女 確かにもらったぞ
だっ だから言わなくていい…もうばかばか
いっいいから
もっと気持ちよくしてもっとドキドキさせて
それができるのはこの世で…あんただけなんだから
最強の舞衣姫、陥落？
次回更新をお楽しみに！

ズプッ
ズプププッ
あんっ あっ
ああっ
本当に無茶して あっ
ドキドキがっ
止まらないっ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
もっとしてっ
あっ
ああっ
もっと
奥まで来てっ…！
パン
パン
セックス・ファンタジー
第11話 前編
maco
原作 饒遊 キャラクター原案 しおこんぶ

あぁっ
これは本気で
具合が良すぎる
俺が突くのに
合わせて
締めてきている…
パチュッ
パチュッ
中で絡みついてきて
俺のモノを
放してくれないっ
どうなってんだ
ルフィアの
膣内は
あんっ　あっ
あぁっ　おっぱいもっ
あぁっ
奥まで
響いてるっ

あんっ 一番深い
ところにっ…
届いてるっ
くっ ルフィアっ
行くぞっ
うっ うん…
来てっ あたしの
一番奥にっ 全部
出してぇっ!
あーっ!!!
あっあぁっ

あたしの初めて奪われちゃった…
ドロォ…
しかも中に出すなんてあんた本当にろくでもないわね
酒場のルーなら最初からわかってるだろ
そうね…でもあんたを一番知ってるのはただのルフィアよ
…ああ
もっとただのルフィアを知りたいな
にゃっ!?

入れるぞ
ルフィアっ
あっ
ズプッ
ちょっ ちょっと…
まだそこは
イッたばかりで
ああんっ
んっあっ
シード
話聞いて
ないでしょ…
あっ
そんな奥まで
いきなり…
あんっあっ
あぁあっ
あーこのモノを
絡め取ろうと
する締めつけが
たまらない…
うあっあんっ
にゃっ あぁんあっ
そんな激しく…
あっあっあぁっ
ドプッドプッ
ま また中に
出してる…
ああっ
にゃあああっ
えっあっ
んむむっんっ
まだ大きい…んんっ
ズプッズプッ
んんっ
あっ

ビクッ
ビクッ
ビクッ
ひゅーっ
ひゅーっ
ルフィア
あと…もう
三発くらい
いいか？
そ そんなに!?
どこまで
あたしの身体
気に入ってる
のよ！
ムクッ

…ところでシード 十二回目に行く前に 確認しておきたい んだけど
ん？
あんた アリーシャ姫とも… こういうこと したのよね…？
ラクシアル とも
あー まぁ…
見てたけど 四十八人のエルフとも ヤってたし …それでどうなの…？
どうって…？
鈍いわね！ その子たちより… あ あたしのほうが イイのかって 訊いてるの！
そ そりゃキミは よかったよ だから十一回も ヤったんだし
あたしがイイのは もうわかってるでしょ！ ほか魔衣姫や エルフたちより イイのか訊いてるの！
ココ…
その質問は さすがの俺でも 答えにくい
……
〝魔造箱庭〟

シュルッ
解体（スクラップ）
!?
キュル
再構築（リビルド）
あああっ シード！ 突然消えないでください！
キュルッ
シード殿その女と何やってたんだ！ ももしかしなくても・・ あああ
キュルッ
!?
…自分の部下たちはどうしたんだ？
あの子たちはお外にいてもらうわ 用があるのはアリーシャ姫とエルフたちよ

…か 完全にヤッてましたね…
どれだけしてたんですか！
…で どういうことなんだルフィア？
迷ってるみたいだから確かめてもらわないと 実はあたし負けず嫌いだし
あたしのほうがイイってことを証明しないと気が済まないのよ
負けず嫌いなのは充分すぎるほどわかるよ でも…どうやって？
比べてみればいいのよ その子たちはみんなあんたに身体を許すのは問題ないみたいだし
できるんじゃないの？
……
はぁー

キミ
とんでもないこと
言ってるぞ…
ボロンッ
とんでもないのは
あんたよ！
さっそく始めるとは
思わなかったわ！
きゃっ…！
なっ
なんですかっ
シード…!?
ググッ
んっ
あっ
ズブ
んっああっ
なんでわたし
性交されてる
んですか…!?
おーっ
久しぶりの
リーシャの中…！
ズプッ
ズパンッ

気持ちよすぎて腰が止まらないいっ〃
あんっ あっあああっ わけがわからないのに… なんでこんなに気持ちいいんですか
ああんっ
ズチュ ズチュ ズチュ
みんながいるのを忘れてる… もう楽しむことしか考えられなくなってるな
俺も楽しくてしょうがないいっ
あっ
あっ
あっ
くっ!
ああああああーーーーッ!!
悪いアリーシャ 早かったけど… まだ一発目だから 次はもう少しゆっくり…
待ちなさいシード
比べろとは言ったけど 一回で十分でしょ?
何を本気で楽しもうとし…
ボロン
あんっ

こっ こらぁ
何をしてるのよ…っ！
いや比べるなら
おっぱいもだろ？
ジュルル
状況を最大限に
利用してるわね
あんた…
グイッ
チュパ
チュパ
あうんっ
よくわからないけど
またクズな男に
抱かれてますっ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ああんっ
奥までかき回されてっ
もっと暴れて…っ！
文句を
言いたいのは
私だ！
あっ
あっ
私を無視するな！
ここはエルフの領域だぞ！
ここでは私が一番
んむっ!!
グイッ

んー…っ
んむっ んっ
んん…シード殿
な 何をっ
んむっ…！
あっ
あん あん
あんっ 何してるんですか
シード…！
あんっあっあああっ
やんっ
こんなに奥まで…
あっやっあっああっ！
ばばか…おっぱい
揉みすぎ…
さ 散々揉んだり
挟んだりしたのに
まだ飽きないの
あんたは…！
んぐっ むむっ…
い 息ができな
…んっ
あむっ
んーっ！
ズプ ズプ

ぁぁあああぁっ！
ま また中に
出されてますっ
ああああっ!!
ビクッ
ゴポ
ずーっ
ずーっ
あ ああぁ
ま 魔衣姫たちが
三人ともシード殿にっ
そうだ
あの子たちとも
比べなきゃならないんだったな！
誰が一番かなんて
決めるつもりも
ないが……

この外界から
遮断された世界で
ヤりまくれる
状況にある
だったら
ヤるしか
ないだろう！
ルフィアの攻略進行度も
どんどん0に
近づいている
だから
俺のこの行動は
正解なんだ
魔造術庭での
生活に まったく
不自由はなかった
どういう理由か
食料もあったし
調理施設まで
作られていた
シードのっ…
また来てるっ
…んっ
あっ
あっ
んっ

中にどぴゅどぴゅ
出されてる…も もう
これ何回目なの…!
あたし
あんたの精液
何度注がれて…
ああっ
あああああっ!
ルフィアとは二十…
何回だったかな
ぎゅ
ぎゅ
ずっ
ずっ
わ わたしも
天姫に負ける
わけにはいきません!
この男はクズですが
あなたに
渡すわけには
いかないんです!
で できそこないの
魔衣姫が…このあたしと
張り合おうっていうの?
上等ね!
そのできそこないに
先を越されたのは
誰ですか!
まったく 人間
どもは醜い争い
をして!
美しさで
エルフにかなう者など
いないのだから
あきらめれば
いいのに
あっ
あんっ

ちょっとシード！
少し目を離したら
そのエルフを
抱いてない!?
ああ ユンカも
まだ抱き足りなくて
ルフィアも
やるか？
……
しょうがない
わね
あー いい…
ん？
ん、あっんんっ
この部屋に来てから
一度も抱いてない子も
けっこう
いるからなぁ
待ちきれなく
なっているのか…
ふぇ？
じゃっ
いただきます

んんんっ
ズッ
ググイッ
いっ 痛いたあっ まっ 待って 待って!!
うん？
なんだ？ 何かに引っかかったみたいな感じが…
エルフ姫兵に処女はもういないはずだよな？
シ シード様！ あなた様 リンが見えてないでしょ!!
というか リンのそこしか見てなかったよね！
あー リンだったのか

リンも
この結界内に
巻き込まれてたのか
処女 ありがたく
ごちそうに
なったぞ
それじゃ 動かして
いいよなっ
あっ
あっ あああっ
まだ許してなっ
あぁ、あぁあんっ
一人でヤるより
よくないか？
めちゃくちゃ
濡れてるし
だっ だって
これだけ濡れ場
見せられたら…んっ
ああっ
ああっあーんっ
勢いで
ヤっちゃって
少し悪いこと
したかも…
でも
こんな大勢に
見られながら
初体験とかっ…
めっちゃ興奮する！

気にしなくていいみたいだ
トロトロに濡れまくって俺のモノをがっつり締めてきてる
くっ…リン出すぞっ！
あぁっ はぁっ みんなに見られながら
ズプズプ
処女中出しされちゃうぅっ!!
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

はぁっ
はぁっ
シ シード殿…
私たちにもください
は、あぁっ
三発目っ んっ シード殿 もっとくださいっ
ズプ ズプ
あぁんっ
もっと あなたの精液で 私の中いっぱいにっ

はぁっ はぁっ
さ さすがに
ちょっと
疲れたかかな…
経過した時間は
一日や二日じゃないと
思うが…
これで
全員抱いたし…
となると…

はぁっ
シ、シード…
んっ
あたし…もう
シード殿…
それじゃあ
第11話 後編
セックス・ファンタジー
最後に三人まとめて抱かせてくれ
maco
原作
キャラクター原案 しおこんぶ
コクッ

シード
好き 好きっ
もう比べてなんて
言わないから…
あたしが一番じゃ
なくてもいいから…
だ…
抱いてほしい
まさかルフィアが
ここまで
言ってくれるとは…
わかったよ
ルフィア
じゃあ行くぞ
うぅん
ムギュッ

あぁ おっきくなったわね
これ ほしいの シードのがいいの…
シードのが ほしいのっ うにゃっんんっ あああああっ！
あぁ…やっと また一つになれた シード 愛してる
シ シード わたしも
ふあっ にゃっんっ んにゃっ あぁっ ふあぁぁあっ
あたしだけを 愛してなくても いいからっ
ううっ 私も… まだうずいて 仕方ないから

んんっ はっ
あぁっ 来たっ
…んっ
パンパン
パンパンパン
あぁっん あぁっ
シードの大きいの
奥まで入ってますっ！
はうっ んん…あっ
今度は私の中に…
ああんっ！
ズップ
ズップ
ずぷっ
きゃあんっ
ちょっちょっと…
いきなりこっちに…
ずぷっ
ずぷぷ
あっあぁあっ！

三人の
魔衣姫の膣内を
俺のモノで…
ああ
なんて贅沢な
快感なんだ!!
もも もっとあたしに…
あんっ 来てっもっと!
あたしを
もっと犯してっ!
あっ ああっいいっ
来てるっ
あたし シードに
犯されてる
にゃあんっ
もっと犯して
好きっ 大好き
あんたも
あんたのおちんちんも
大好き!
最強帝国の
お姫様がそんな
品のない言葉をっ

んっあっあっ
あああっ
ガシッ
にゃっ
にゃあっ
ズパ
ズパ
ズパ
グッ
ああああああっ

あ、う、っ
んっ にゃ にゃあっ いっぱい 出てる…あぁ
うおお 止まらないいっ
全部 出すぞっ!!
あっ あっ
あぁ… 一番じゃ なくてもいいから… 気持ちよかった?
あたし… よかった?
ああ 最高だよ ルフィア
なんだかイラッと しますけど… とりあえず殴る 気力ももうないです…
わ 私も…もうダメ… いったい何度達したか わからないぞ…

あたしもちょっと
イラッとするけど…
もういいわ
天姫なんて
言ったって
女の子なんだから…
好きな男に
抱かれるのが
一番の幸せなんだわ…

これで目の前にいる
女の子は
天姫エルソフィア
じゃなくて
俺が好きな女の子
ルフィアに
なったんだな
やりやがった!!
次回更新をお楽しみに!

シードが
三人の魔衣姫を
屈服させてから
数か月後──
マスディニア帝国
アティナ
エルフ部族連合
アティナ王国
エルフ部族連合
マスディニア帝国
激変する情勢にシードと魔衣姫たちは──。
maco
原作
キャラクター原案 しおこんぶ
三国の緊張が高まり
マスディニアからの
侵略開始が濃厚と
思われていたが
突如として状況が
一変した
三つの国の国境に
またがる草原に
〝約束の離宮〟と
呼ばれる建物が築かれたのだ
第12話
セックス・ファンタジー
SEX FANTASY
そこに
三人の魔衣姫が
集い会談──
和睦に関する
話し合いが
始まった
三つの国の運命は
魔衣姫たちに
託されたのだ…

もっ もうっそんなに いじらないで ください
んっ
あっ
あっ
んっ
なんで？ 気持ちいいだろ？
っそうです けど…っ
うおっ トロトロだな リーシャ
そんなに 欲しくなって たのか？
つ――そんなにっ いじられたらっ
欲しくっ なっちゃっ
あっ
あっ
あんっ んっ
〜〜――っ 欲しかったですっ
グチュ
クチュ

ふーっ
ふーっ
クチ
クチ
クチ
相変わらず見るのが好きだなラクシアルはっ
準備はできてるみたいだな次はラクシアルに…だがその前に…
リーシャ出すぞっ!
あっ きてっ きてっ シード私もっ
いっくくっ!!!

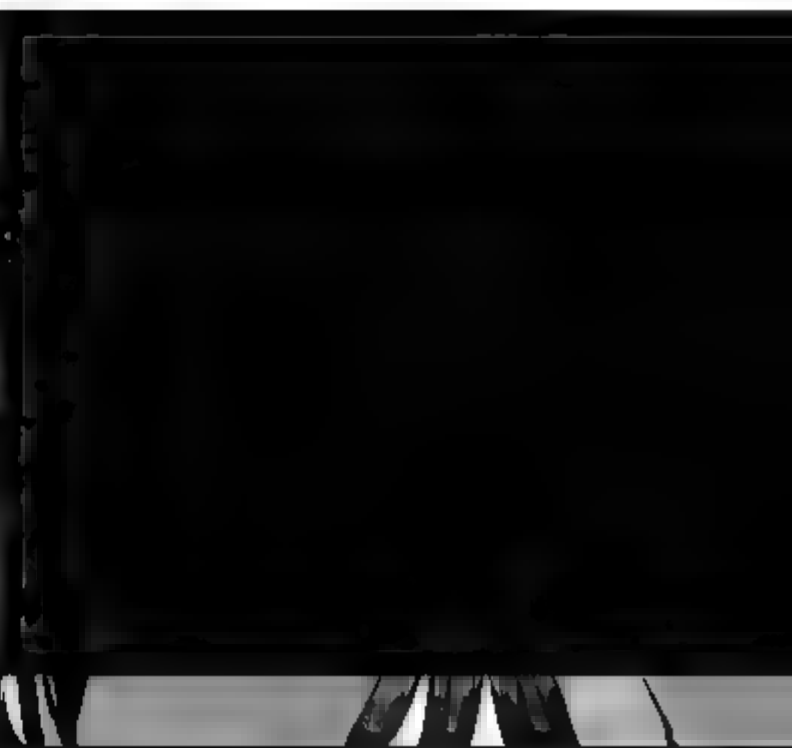
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ビクッ
ビクッ
ヌポッ
ふーーっ
ラクシア…
うおっ
パクッ
ぶごっごぐがぐっ
ごんぐが…
ジュポッ
何言ってる
んだ？
ラクシアルなら
大丈夫よ
一人で楽しんでるわ
だから
次は私
はぁ
はぁ
もう
濡れちゃってるけど
雑じゃいやよ？
ちゃんと
愛して

本当にいい女だなルフィア
ぴちゅっ
俺をその気にさせたら止まらないぞ？
愛してくれるなら受け止めてあげるわ
ちゅっ
甘まっ
甘まっ
甘まっ
ぱんっ
あっ
あっあ"あっ
じっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ

パンッ
パンッ
パ
イっく
イっく
いっ
いったっ
いってるっ
ビクッビクッ
甘っ
甘っ
またっ
いくっ
もういっかい
いくっ
おっ
おっ
いくのっ
とまらなっいっ
おおっ
おっ
んっ
んんっ
んっ
いぐっ
いぐっっっっ
ぉぉぉぉぉぉっ
んんっ

ラクシアル準備はできてるよな？
ふーっ
えっ？あっ今イったばっかりだからっ
無理矢理は趣味じゃないからな…
どうする？
はぁっ
はぁっ
ください

んっんっ
んんんんっ
ぎゅっ
たまらないっ
この絡み付く
感じっ
いったときの
締め付けっ
くっ
ビクッ

ギチギチッ
ドクッドクッドクッ
あっ…ぉ…
今度は三人同時に頂こうか
はぁ、はぁ

ふーー
ぬぅ
あれ？
シード
もう起きたん
ですか？
あん
もうふざけないで
ください…
ちゅっ
ちゅぱっ
ぷるんっ

それにしても…変なことになりました いつまでも離宮にはいられないですよ？
あっ
わかってるさ でも しばらくはいいだろ？ 戦争を避けるって大仕事をやり遂げたところなんだから
んっ
はい… あなたには感謝しかありません
？
まさか本当に三国の和睦が成るとは思いませんでしたけど…
ルフィアは同盟を組むことも考えてるようです もちろん あなたあってのことですけど…

まずは和睦
そこから少しずつ進めないとな
ルフィアは戦争の準備を進めてたんだから一気に引き下がるとおかしいと思われる
ですがまだ終わりではありません
魔衣姫はあと四十九人もいます
あっ
好戦的な者ばかりではないですが油断はできませんよ
それもわかってる
でもまぁ大丈夫だろ
…？
国のことは関係ないさ
この前ルフィアの魔造箱庭（クラフトボックス）でみんなでヤりまくっただろ？
ですが…それがどうしたんですか？
ヤ ヤりまくく…
こ 言葉を選んでください！ もうっ
品がない…
あなたは三つの国を手に入れたも同然です
ですがそれだけでは…

あのときいたのは
合わせて五十二人
偶然だろうが
魔衣姫と同じ数だ
はぁ…
それで?
俺なら五十二人の魔衣姫を
まとめて抱くことも
できるってわけさ
甘ぁっ
甘ぁ
いやぁ これは
楽しみになってきた
あ あなた
魔衣姫を全員
自分のものに
するつもりですか
!

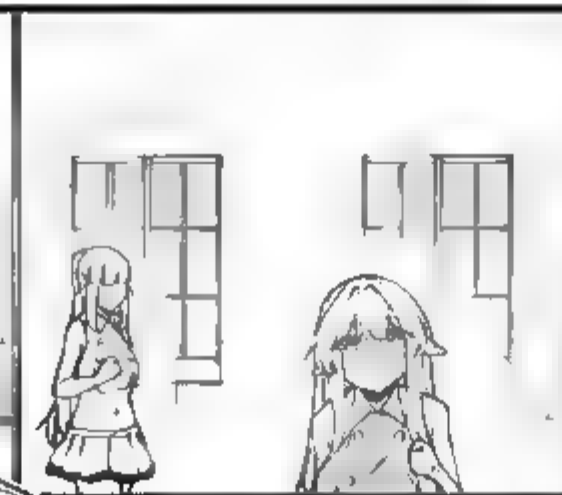
もちろん
名も無き英雄は五十二人の
魔神将を屈服させたんだ
だから俺にだってできる
この世界の戦乱を
終わりにできる
俺の――
愛さえあれば！
ほ 本当に…
馬鹿ですね
あなたは
がさっ
馬鹿だそなたは

まったく
どこまで馬鹿を
続けるつもりなんだ
ぽてっ
…もう
しょうがない馬鹿ね
あんたは
そうなると
あたしの力が必要に
なるわね

――っ
おっ
…っ
♡
ムクッムク
やってみせるさ
俺の愛で！
ミーシャどの 私がっ
私に いれてっ
私にもっ
次回更新をお楽しみに！

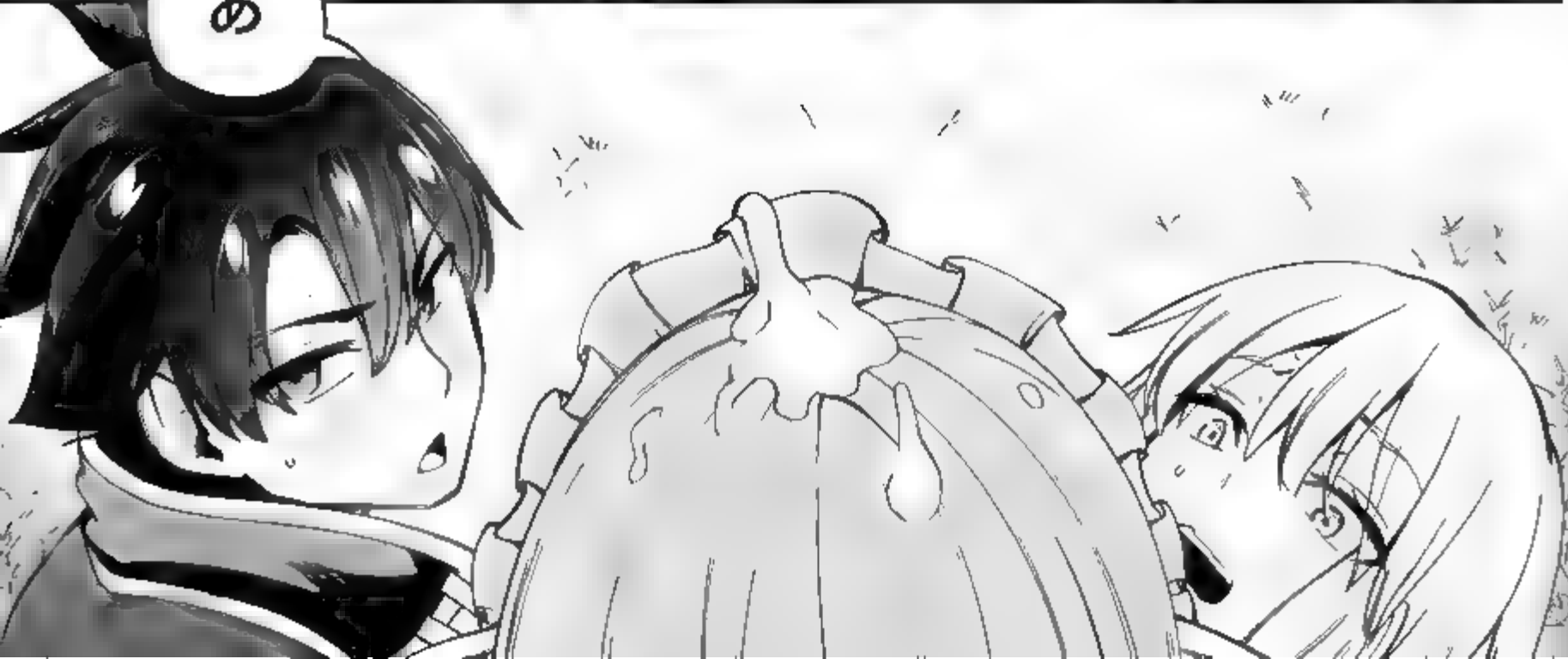
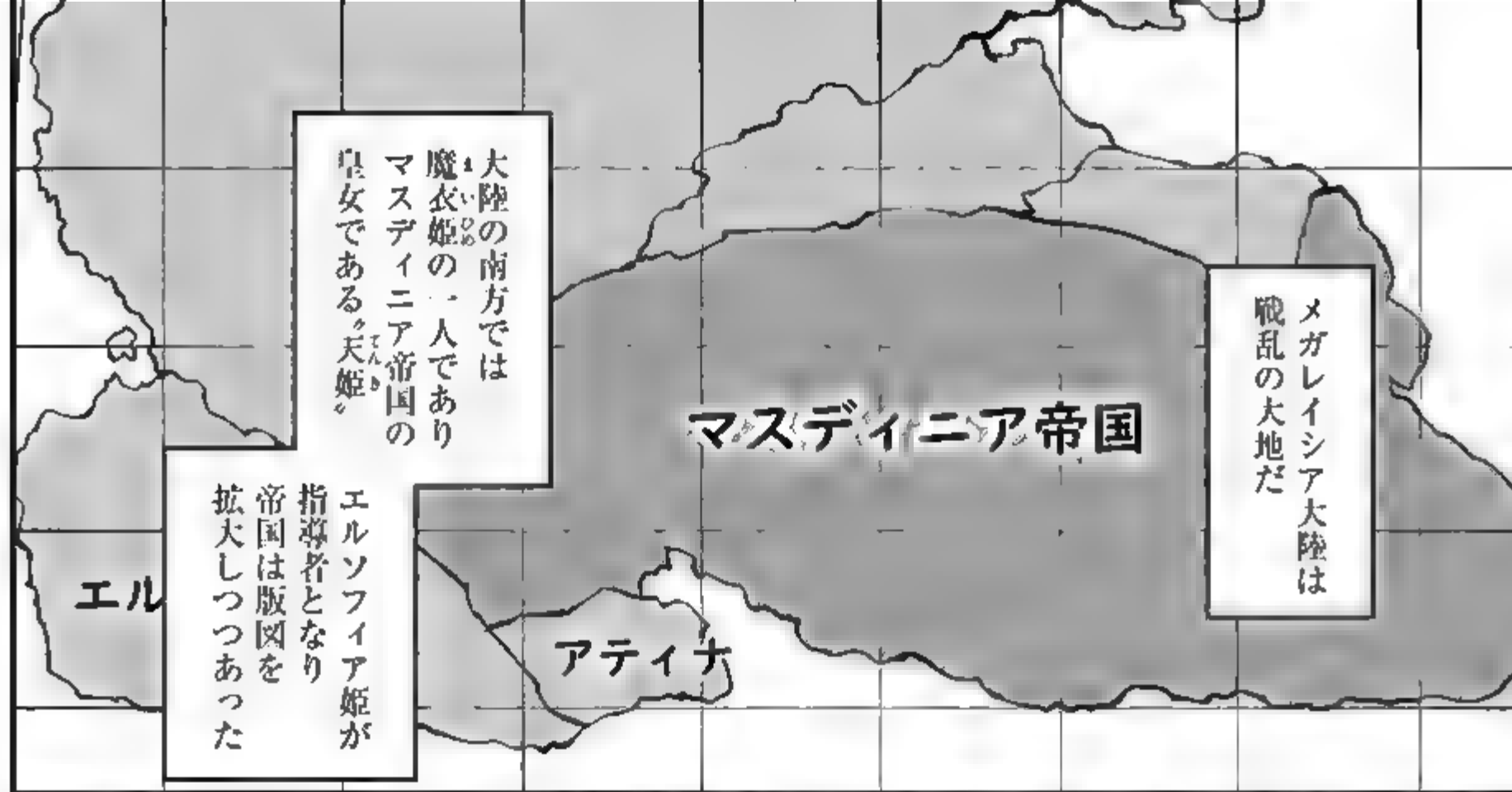
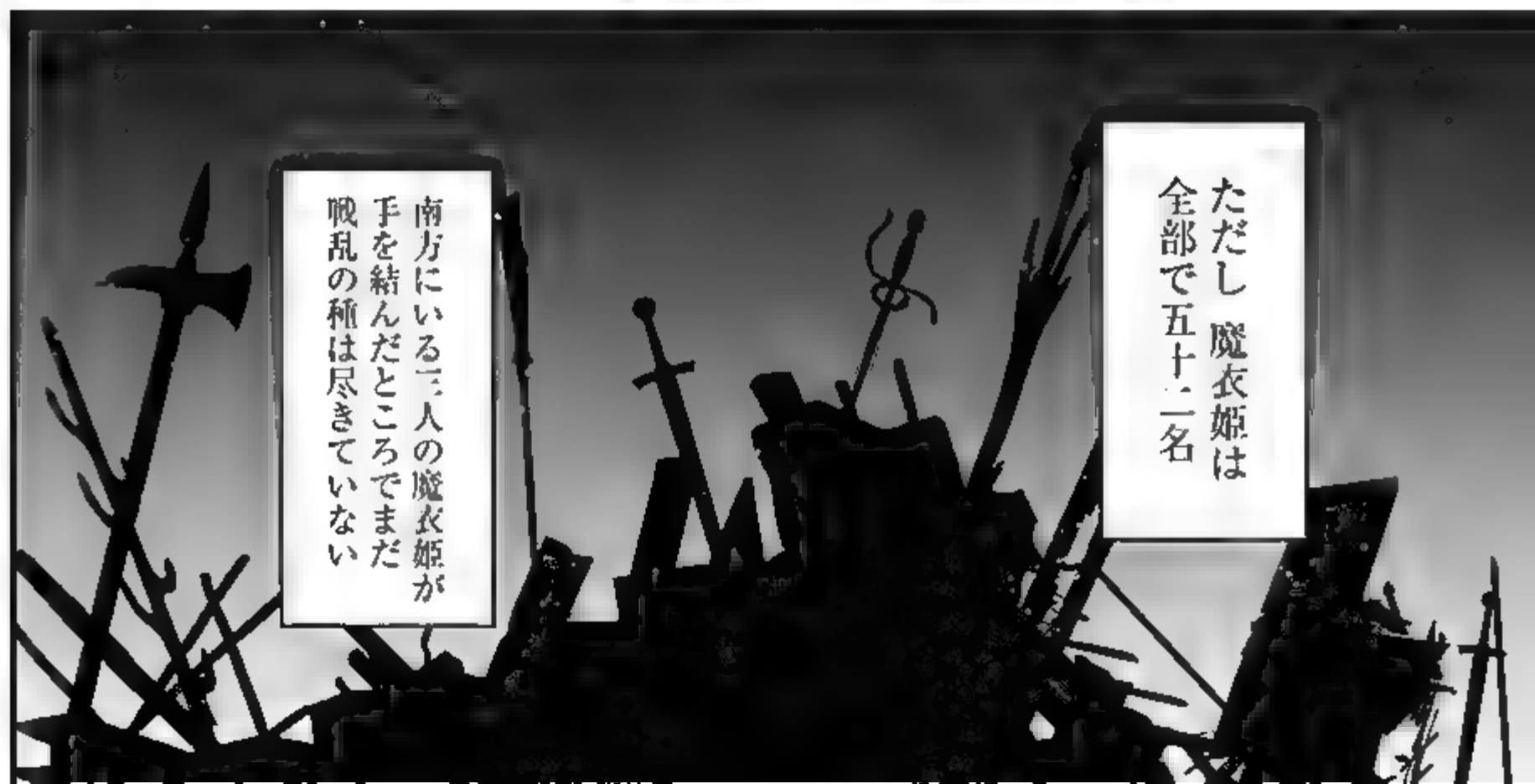
第13話 前編
セックス・ファンタジー
SEX FANTASY
もっもう…これ以上はっ
はぁっ
あっ朝からもう六回も…っ
んっ
あっ
まだ六回だ一日はまだ長いぞユンカ
あんっ

散歩中だがムラムラしちゃったんだからしょうがないっ
ふあっ んっ
あああっ シ シード殿っ！
ユンカは可愛いなぁ
こんなところをトロトロにさせて…
んっ はぁっ
？
お お願い…します
わ 私ももうこれ以上は…我慢…できませんっ
…ああ
あんっ

わ 私は…あなたを毒刃で刺し殺そうとした罪深い奴隷です
んっ
で ですからせめてこの身も心もあなたに捧げて罪を償わせてください…
そうかそれじゃあ…
んっ んむむっ
んっ
んーっ
んんんっ…
おっ お願いしますっ早く
早く私の罪を償わせてくださいっ！
私の処女…ら 乱暴に奪って…ください！
んっ

ニヤ
ビクッビクッ
ゾクゾク
んっ！
ああっ！
ズプズプ
カチャカチャ
もっとっ
もっと乱暴に…う動いてっめちゃくちゃにっ
本当に荒っぽくやっちゃうぞでもそれが俺の愛だから！
はっあっああっ奥にっ
ああっ来てるっ

あああんっ
奴隷の私のっ
あさましい私の中で
あなたのが
暴れてるっ
っ！
あっ　ああっ　中に出されっ
あっ　あああああっ！
おおお
すげーよかった…
うわっ
まだ出てる
あ

これ
何？
んロォ…
なんか
変なにおい
スンスン
えーと…誰だ？
この離宮にいる子の顔は
完璧に覚えているのに
見覚えがない

……
初めまして
ペコッ
名前はイリヤ・メイター
あなたのメイドになりにきた
はぁ…メイド？

メガレイシア大陸は
戦乱の大地だ
マスディニア帝国
大陸の南方では
魔衣姫の一人であり
マスディニア帝国の
皇女である〝天姫〟
エルソフィア姫が
指導者となり
帝国は版図を
拡大しつつあった
エル
アティナ
ところがつい先日
マスディニアは
侵攻の対象だった
アティナ王国と
エルフ部族連合と
和睦を結び
南方での争いは
ひとまず終息する
こととなった
アティナ マスディニア
エルフ部族連合の三人の
魔衣姫は既に同盟を
結んでいるという噂も
流れている
まだ公表されて
いないが事実だ
ただし 魔衣姫は
全部で五十二名
南方にいる三人の魔衣姫が
手を結んだところでまだ
戦乱の種は尽きていない

というのが現在の南方地域の状況
だが…南方が落ち着いても世界はきな臭い
世界のすべてが愛で平和になった南方のようになればいい…
とはいえ南方でもまだそれなりに騒動は起きる
たとえば……
あらためて名前はイリヤ・メイター
年齢は…
自分でもわからないけど少なくても十五年以上は生きてるはず
十五年以上ね…
年齢がわからないという者はそんなに珍しくもないが……
メイド服の女の子が突然押しかけてきたり
でなんでまた俺んところに？
ここが立派な建物だったから
……

あまりやる気がある態度に見えないが…
…いっぱい人がいるみたいだし雇ってもらえるかと
ふむ…
働きに来た割には口の利き方がぞんざいだけど…
そういう性格ってだけか？
…何？
いやうーん…
イリヤは本当に可愛い
肩まで伸ばした亜麻色の髪
身体は小柄で腰はきゅっと引き締まっている
俺は貧乳だって好きだ愛せる！
整ったちょっぴり幼い顔
それに何よりメイド服が似合ってる！

よし！合格！
合格！ではありません！シード殿！
いきなり決めないでください！ここをどこだと思ってるんですか!?
でもさユンカ離宮には兵士しかいないし
あなたの身の回りの世話は私たちがしています！なんの不満があるんですか！
だいたいこの子はハーフエルフですよ！
ハーフエルフ？
ハーフエルフは初めてだなめったにいないって話は聞いたことがある
ああ ダークエルフもまだ見たことない
エロくてついでに処女のダークエルフがいいな…まぁそれは常時募集しとくとして
うんイリヤはハーフエルフ父が人間 母がエルフ
いいんじゃないか？可愛いし

そういう問題ではありません シード殿！
ハーフエルフはその…なんといいますか
ん？ 歯切れが悪いな どうしたんだ？
ハーフエルフは忌避される者 人間でもエルフでもない
穢れた血の持ち主 人間からもエルフからも拒絶される
そ そういうことです そもそも森でもハーフエルフは見たことがありません
決して受け入れてはならないといわれてます
……
…うん ハーフエルフが人間からもエルフからも拒否されているのはわかった
でも俺が拒否しなきゃならない理由があるのか？
……

そ それは…ですがここは魔衣姫たちが集う場所で
あなたは…まぁラクシアル殿のその…お想い人的な？人ではありますので…
ハーフエルフを受け入れるわけには…
いやユンカ 重要なのは離宮でハーフエルフを受け入れるかどうかじゃない
…といいますと？
俺のモノをこのハーフエルフが受け入れてくれるかどうかだ！
…そんな気はしていました！
モノ？ イリヤどうすればいい？
気にするな…それよりまだメイドとして雇うと決まったわけでもないのになぜメイド服なんだ？

気合が入ってるように見えるかと思って
き 気合？お前そんなボケーっとしているくせに…
あと服装についてはイリヤからも質問
!?
この離宮ではこういう恰好が必須？
ちっ 違うっ！これは魔衣姫殿から姫兵に与えられた服で…っ！
我らエルフ姫兵はマスディニア姫兵みたいに趣味で着てるわけではない！
!?
わ 私も趣味で着ている…わ わけでは…
この服装には深い理由が…
む 昔 両親に連れられていった国でどこかの貴族が女奴隷と…
もじ
もじ
そ その変なことをしていたのを目撃してしまって…それ以来…

…変わった人を雇ってる
雇われてない！私はあくまでマスティニアの兵としてこの男を監視してるだけだ！
まぁ それじゃぁイリヤはメイドとして採用するってことでいいよな
どういう脈絡でそんな話に!?
…あのシード殿 ハーフエルフということは置いといても変です
確かに変わってるけど離宮はそんな子ばかりだろ？
エルフや帝国兵を前にして妙に淡々としてるところも気になりますが…それよりも
この離宮は厳重な警備が敷いてあります
そもそも天姫の能力〝魔造箱庭（クラフトボックス）〟で造った場所なんですよ
普通の手段では入り込むことができません
あーそういえば

密偵かもしれません
堂々としすぎですが
疑いは捨てきれません
じゃあ その疑を解明する
という意味でもイリヤを
採用するってことで
シード殿は
ただ抱きたいだけでは!?
あ そこは大丈夫
エルフのお姉さん
イリヤはハーフエルフ
イリヤとの情交は穢れになる
穢れ?
なんだそれ?
ハーフエルフは
いても
クォーターエルフは
いない
ハーフエルフとの情交は
穢れになるといわれてるから
誰も子供を残さない

ハーフエルフは美形ぞろいですが
買い手がつかないので
奴隷商でも
取り扱わないらしいです
なるほど…
そういう言い伝えが
あるのか
シード殿
私も聞いたことがあります
ハーフエルフと交わった者は
呪われるとか
不幸が起きるとか…
イリヤは
穢れを振りまくつもりはない
だからメイドになったら
どんなこともするけど
ふむ……
情交だけは
ダメ

つまり…性交以外なら何をやってもいいってことだな？
それは楽しそうだ！
え？この人は何を言ってる？
イリヤの攻略難度は99
そして攻略ルートの進行度は98
進行度は魔性幻惑でも堕ちない女の子のみに現れる
要するに今のままじゃ絶対に性交できない
ポッ
ポッ
ふっ…

イリヤはなかなか厄介らしい
性交（セックス）はダメというのは口だけではないようだ
でも面白い…俺の愛をもって攻略する必要がある
…私は何か嫌な予感がする
同感だ…
イリヤ・メイター今度こそ決定だ！
キミをメイドとして採用する！
性交（セックス）できなくたってこれだけ可憐（かれん）な美少女！
なんでもしていいなんてめっちゃ楽しみだ！
はぁ…
次回更新をお楽しみに！

自前のメイド服でお仕事中――。
んー
んー…
セックス・ファンタジー
SEX FANTASY
第13話 後編
プル
プル
プル
とりあえずイリヤには俺の部屋の掃除をしてもらうことにした
慣れてないのか手つきはよくない
プル
プル
maco
原作 鏡遊 キャラクター原案 しおこんぶ

イリヤが怪しいことは否定しないけど…
俺としては可愛ければ何も文句はない
…ところであなたはそこで何を？
昼寝だ
……見えそうで見えないのもいいけどやっぱ見たいな
ザッ
ピラッ
あ…

…ハーフエルフの下着を見たがる人なんて初めて見た
そんなもの見て何がうれしいのかわからない
俺もハーフエルフのパンツ初めて見た
うん 可愛い尻だな!
ご主人様…呼び方はご主人様でいい?
様なんてくすぐったいけどメイドっぽくていいな
で なんだ?

…ご主人様はエルフや奴隷のお姉さんとあんなことしてたのに
今さら下着が見たい？
じーっ
パンツを見たくない男なんていない！
そんな男がいたらアティナとエルフ部族連合マスディニアの総力を結集して討ってもらう
別に討つ必要はないと思う
でもこんなのでよければいくらでも見て
ふむ…
一応確認しておくけど性交(セックス)っていうのは最後の一線を超えるってことだよな？
その認識で問題ないハーフエルフでも乙女だから口には出せないけど
一つになるということ
つまり一つにならない限りは何をしてもいいと？
あんなところで二人まとめて抱くような人なのにずいぶん念を押す

魔性幻惑で堕ちてるわけでもなく攻略完了しているわけでもない女の子に無体なマネはできない
リーシャあたりが聞いたら「へーこれが嘘つきの顔ですか」みたいな反応されるだろうけど…とはいえ
イリヤの攻略ルートは少しだが…
進んでる
まさかのスカート覗きからパンツ鑑賞で進むとかどうなっているのか…
まぁいいか とにかく俺のやっていることは間違っていない
そんじゃまずはキスしとくか
んっ…？
むちゅっ

おにっ
くちゅっ
おちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
ぷはっ
…
すげぇ
はい？
うおお すげぇ唇
柔らかかった ふわっと
とろけるような
それでいて甘い味わい！
キミの唇
どうなってるんだ!?
どうもこうも

というかハーフエルフにキスする男の人がこの世にいるのに驚いた
驚いてるようには見えないぞ
よもや雇われた当日にパンツ見られてキスされるとは夢にも
ま 俺はその辺の男とは違うからな いろんな意味で
んっ
んむむ…
んっ
んっんんっ
あー 性交したくなってきた!
ちょっとだけ! ちょっとだけヤっていいかな!?
こんなに欲望に忠実な人も珍しい
でもダメ

ちっ 率直にお願いしてもダメか
そうなると次なる手は…
ガチャッ
失礼します
シード殿…さっそく何をしてるんですか
んっ んんっ んむむっ
あの…私を無視してキスを続けられても困るのですが…
うーん 悪いとは思うんだけどイリヤの唇がよすぎてさ…
さっき会ったばっかりの少女とキスとか正気ですか？
ユンカなんて会った直後に性交してたじゃないか
それと比べたらキスなんて可愛いもんだろ
そんなことは別にいいんです！
それより北方の国境を調べてる例の忍からの報告で…
あーリンか

それで…
ちょっといいですか？
しょうがないな…
しょうがないから
ちょっと抱かせてくれ
何もわかって
ないようですね！
ちょっ ちょっと！
本当にヤるんですか！
それもハーフエルフの前で！
大丈夫だ
つーか仕事なんていいから
常に俺のそばに
いてもらわないと
だ だいたい
いるじゃありませんか！
あなたが私を妙に
贔屓するから天姫に
睨まれてるんですよ!?
ぷるんっ
カチャ カチャ

心配ない
エルソフィアの魔衣姫だって
エルフの魔衣姫の姉貴には
手出しはしない
手を出すのは
俺だけだな
上手いこと言えてませせっ
あんっ
ま 待ってくださいっ
するのはいいんですけどっ
せめてハーフエルフが
見てないところでっ…
ああんっ
イリヤ キミも
ちょっとこっち来て
ん
え？ シード殿？
いったい何を…
んくっ…！
ズプ
ズプ

あっ
あっ
あんっ ななんなんですかっ
あうっ
いきなり激しっ…！
いいぞユンカ
相変わらずムチムチでいいなぁ
あとイリヤ
ちょっと
…？ はう
んっんむむむっ
んっんちゅっんっ…
シード殿…な 何をしてるんですかっ
あんっ ふあああっ
何ってユンカにぶち込みながらイリヤの唇も楽しもうと思って
どうしようもないクズですね あなたは！
あんっ あっ
そんなに…あんっ
あっ いつもより硬くて…
ああんっ
んっ んんっ…

んっ
激しすぎ…
私…もうっ
ああっ
ズプッ
ズプ
ずぷっ
あああああっ
あっ
ああああああっ！
ビクッ
ビクッ
いいっぱい出されてる…
あああ…こんなの
すごすぎぃ
んんっ んっ…
んむっ
あー
我慢できなかった
メチャクチャ
出まくってるっ

すまっ
うわぁ
本気で気持ちよかった
ぃっ
…でもユンカにはちょっと悪いことをしたかも
すまっ
ちょっ
ちょっとよかったかも
ほかの女の子のために自分の身体を使われたのが興奮するというか…
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぃっ
すまっ
最初に抱いたときもそうだけど
ユンカは俺に何をされても大喜びだな
んー…ご主人様はこんなのが楽しい？

ユンカと一緒に
やりたいように
ヤラれたのに無表情…
んっ
本当に密偵だから
覚悟ができているのか
それとも…
ちゅっ
とりあえず
もう一発ヤリながら
考えるか
あっ
あんっ 本当に…
あなたは連戦
ばかりですねっ
ズブ
はんっ
あんなに出したのにっ
まだ硬い…んんっ はぁんっ
っと
イリヤ
ん…ちゅっ
んちゅっ
ずぷっ
ずぷっ
ずぷっ
……
わ私はかまいません
シード殿
ん？
かまわないって？
んんっ
ちゅっ
ちゅっ

シード殿のことですから
このハーフエルフが何者でもせ 性交したいのでしょう
それを我慢できるのなら
私の身体などどう使って
もらってもかまいません！
よし それじゃあさっそく
五 六発はやらせて
もらおうっっと
本当に遠慮が
ないですねコ
このハーフエルフが
性交は嫌だというなら
しないに越したことは
ありません
ひ 秘所に毒を
仕込む女もいるとか…
毒入り性交か…
どんな感じなんだろう
一度やってみたい
あなたは一度
死んだほうがいいと
思います
…

ですが…
ほかの兵たちにも
通達しておきます
シード殿がまた
変なことを始めるが
気にせずいつも通りと
簡潔でわかりやすい！
ご褒美に今日は
強めにいくか！
そ そんなの
ご褒美には
あっ あああんっ
あああんっ
奥にコツコツ当たって…
ああああっ
ユンカの言う通り
イリヤが怪しいのは
俺だって認める
ただイリヤの身元は
俺には調べようがないし
どうでもいい
それより…
裏眼で見るイリヤの
攻略ルートは進行している

数値が大きく進んだのはユンカが部屋に入ってきてから
イリヤを交えて性交(セックス)を始めてから
魔性幻惑(ヒヒセイノジン)もかけてない女の子がこんなメチャクチャに巻きこまれて
なんで進行度が上がるんだ?
不思議だけど…ま ユンカのお許しも出たことだし
イリヤと性交(セックス)できない分
ほかの子と一緒に
楽しもう
可愛ければヨシ!
次回更新をお楽しみに!

maco
原作 鏡遊
キャラクター原案 しおこんぶ
第14話 前編
セックス・ファンタジー
SEX FANTASY
美少女率、驚異の一〇〇%!
名目上
俺はこの離宮を
預かっていることに
なっているが
必要なことは
ここにいる兵士たちが
みんなやってくれる
本当に俺はただここに
住んでいるだけだ
魔衣姫たちは俺が美少女を
求めてフラフラどこかに
行かれても困るのだろう
監禁状態ともいえるけど
ここには美少女がいっぱいいだし
それにまだ全員抱いてない
ルフィアなんて
自分の姫兵から特に可愛い子を
選んで送り込んでくれたらしいし
さすが大国を手中に
納めてるだけあって
ソツがない
…ところでご主人様
大丈夫?
何がだ?

何度も言うけど
イリヤはハーフエルフ
イリヤを連れて歩いたら
ご主人様まで
ここの女の子たちに
嫌われるかも
俺の愛は種族なんて
選ばない
種族を気にして
可愛い女の子を抱き損ねる
なんてアホらしい
んー
んー
んむむっ
むちゅっ
さっきからちょっと
歩くたびにキスしてる…
いや
気持ちよすぎるから
よし もう一回…

そういえば新人姫兵と初めて会ったときも着替えてるところを目撃しちゃったんだよな
それは覗きというのでは？
よし着替えを覗いたのも何かの縁だし性交しておこう
え!?
とりあえずヤらせてくれ！
んっ
ああっ
なんなんですか いきなり！
いつもながら私が新人だからってなめてますよね!?
むにゅっ

あんなエロい着替えを見せられたらヤるしかなくなるだろ
…
のっ覗いてたんですか！まったくあなたはっ
はうっ…ん
あなたに屈服したからっていつでもやっていいなんて認めてませ…っ
相変わらず天使みたいに可愛い顔してる割に強気なんだよな
そういうところがそそるっ…というわけでっ
んっ……はっ 入ってきたっ
昨夜も七回もしたのに…ま まだするんですかっ
今日は今日だからさ！
もっもうっ…！シード殿っ 昨夜は「明日は奴隷少女の処女をもらう」とか言ってたのにっ
もういただいてきたからそれにしてもキミのここは気持ちよすぎるな
いやー エルフの中でも締め付けは一番すごいかもっ
うっうれしくないです…！
ずぷっ
ずっ
ずぷ
あんあぁあっ やぁっあんっ

わっ 私 一晩中あなたに
抱かれて朝から警備してっ
もう寝かせてくださいっ
んっ
そうしたいけど
キミのここは
俺を離してくれないんだよ
ズブッ
ズブッ
自分から腰を振ってるのに
素直じゃないなぁ
俺も突きまくって…
あぅ
あぁっ あっんっ
ズプッ ズプッ
ずぷっ
うっあああああっ
でっ 出てるっあああんっ
中にっ…全部っ…！

…ふうっ
おー
さっきユンカとヤりまくったのに…
ものすごい大量に出てしまった
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ふーよかったよ
さて次は…
もうっ 動かないでくださいよ
まっまだする気ですか！
私なら何をしてもいいと思ってますよねっ！
文句を言いつつちゃんと綺麗にしてくれる…
隙間から可愛い乳首が覗いてるのもいい！
んっ んちゅっ ちゅっ
ん？

今…
なぜか魔眼が発動して数値が動いたような…
イリヤの難易度は変化なし…
進行度も…ユンカとヤったときに少し動いたままほとんど変わりない
…っとそうだ
ギュッパ
ギュッパ
ギュッパ
イリヤも一緒じゃないとな
…この子がユンカさんが言ってたハーフエルフ…
あーでもまたキスだけじゃ味気ないしイリヤも物足りないよな
そんなこと言ってない
あのシード殿？あなた何をするつもりですか？
大丈夫 ちゃんとキミも気持ちよくするから
えーっとそうだな…イリヤ
ちゅっ

な なんですかこれ？
なんで抱き合う
みたいに…！
この人の考えてることは
理解不能…
それじゃあ
ヤるとするか！
んっ…ど どこに
入れてるんですか!?
…性交はダメ
わかってる わかってる
入れないからこのまま
擦らせてくれ

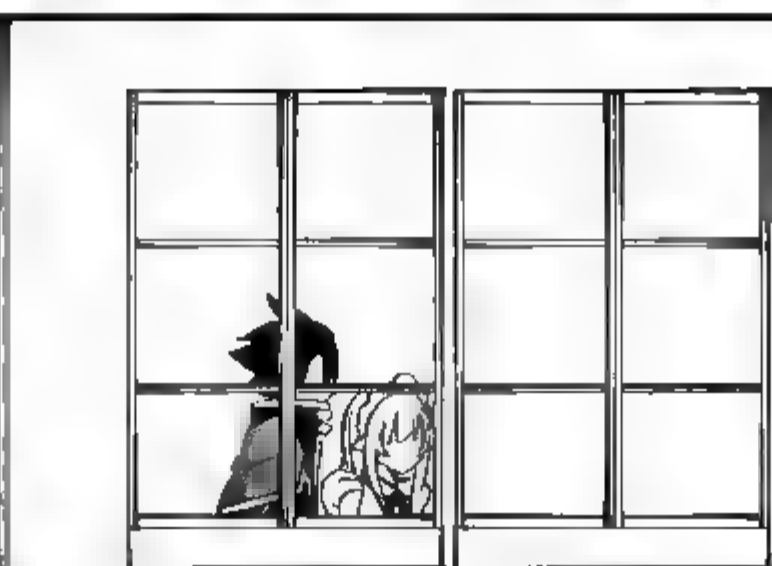
二人の秘部はパンツ越しでも熱いくらいだ
あんっ
あっ そんなところこすらないでくださ…あっ ああああっ！
ズリ
ズリ
ズリ
んっんんっ…んーんんっ…
グイッ
おお これは… 性交とはまた違う気持ちよさが
パンツ下ろすぞ
ズプ
ふあっ！
おお やっぱり生の感触のほうがいいな…挿入するのとは違ってすげー気持ちいい！
ややんっ
そんなところずりずりしないで…
あっあんっ
ああっやんっ…
ダメっ
ハーフエルフこんなところ見ないで…
ズプ
ズプ
ズプ
ズプ

変な感じだけど…
あなたはすごく気持ちよさそう…
ぐにっ
あっ…
あっあぁあっ…!
ぐちゅ
ぐちゅ
き 気持ちよくなんか…
うおお これは…我慢できない…
出るっ…!
パちゅ
パちゅ
やぁあぁあぁ!

おお すげー気持ちよかった…
こういうのもアリだな！
もっとヤりたいなっ
よし！
次はイリヤと
キスをしながら！
人の話を聞いてませんね！
いつものことですけど！
ああっ 本当に入れてきたっ
ああんっ！
なんですかこれはっ
どうして一緒に抱かれなきゃ
いけないんですかっ
んっんん…
んむむ…
パチュッ
パチュッ
パチュッ
こういうちょっと
変わった趣向の
性交も気持ちいいな
ほかの子たちとも
イリヤを交えて
楽しませてもらおう
そんな感じで
ハーフエルフと
出会ってから数日
うーん…
おかしい…

イリヤを連れて
離宮を歩き回り
その結果
なぜか攻略ルートは
微妙にだが進行している
騎士や姫兵たちと
性交しつつイリヤの
唇や秘部を味わわ
せてもらった
だがイリヤ自体の
難易度は99から
動いていない
うーん おかしい…
おかしい…
…あの
ご主人様
悩むのは勝手だけど
イリヤのそこを擦るのか
悩むのかどちらかにして

あー
気持ちいい
ズー
ここに早く
入れちゃいたいなぁ
ズー
コスコスコス
うおっ…っと
やばいやばい
出そうだった
ザッ
カチャ
カチャ
パンツで擦るだけ
なんてもったいない
周りに誰かいれば
よかったんだけど…
ふー まぁいいか
あ キスしとこう
んんっ…ん
んちゅっ
メイドの仕事は
どうなるか
わからなかったけど
まさかこんな
変なことに巻き
込まれるとは…
でもイリヤ
メイドの仕事は
ぜんぜんできて
ないじゃないか
……

ガチャ
はっきり言って
イリヤをメイドとして
雇ってくれるところ
なんてないぞ
掃除をやれば
物を壊すし
洗濯をすれば
服を破くし
料理も壊滅的だし
そこまで
はっきり言われると
さすがのイリヤも傷つく
まったく傷ついてる
ように見えないが
でも
イリヤはメイドとして
役に立たないのは事実
だから情交さえしないなら
どんなに身体を使って
もらってもいい
使うって言い方が
エロいな…
またムラムラしてきた
パタン
あんなにしてるのに…
些細なことで興奮する
なんてどうかしてる
そんなに褒められると
さすがに照れるな
あ そうだ
そろそろ夜の警備
だった子たちが
風呂に入る頃だな
よし！
覗きに行こう
こんなさわやかに
クズなことという人
も珍しい

セックス・ファンタジー
SEX FANTASY
第14話 後編
ガラッ
おっ やっぱ何人か入ってるな!
ん? 五人か…確かマスディニアの姫兵まだ性交してない子たちだな
んー 何か引っかかるな
あ そうかわかった キミたちみんな似てるな!
きゃあああああああああああああああああああ!
maco
原作 鏡遊
キャラクター原案 しおこんぶ

ネーキス様!?
なコなんでございますか!?
もしかしなくても
キミたちは五人姉妹
だよな？
そ そうですけど…
そういう話をするなら
私たちがお風呂を
出てから！
うん
さすがルフィアが
選んだ子たちだけあって
五人とも美少女だ
ん？ 姉妹って割には
みんな年が近そうだな？
わ 私たちはみんな
腹違いでございます
私が長女で
次女です
三女です
四女です
五女…

父様は帝国貴族で…五人の愛妾を…その
ほぼ同時に
あーなるほどまったくとんでもない女好きがいたもんだな！
…ご主人様が言うの？
それじゃヤるかみんな！
こっここでてございますか⁉せめて私たちの寝室で…！
寝室まで我慢するなんて拷問だよ
大丈夫みんなきちんと処女をもらうから
…姉様ネーキス様のご寵愛をいただくことが私たちの役目それに…
そうです姉様もうお手付きになった人たちによると…そのすごくいい…とか
うん進行度を見ても問題なく堕ちている数字だ
話はまとまったみたいだから
さっそくヤろう
パサッ
ビキッ

あっあんっ
む 胸…
そんな手つき…
あんっ こんなのっ いやらしいです…っ！
妹が… 私たちの前で…っ
んあっはっあああっ
こんなの… あっ あっあああっ…っ！
みんな並ぼうか
？
…こ こんな格好で…
姉様…！
こ これも私たちの役目です… 姫兵の受け入れないと…
誰からいただくか…
五女だな！

ズプッ
あっ
あああああっ…い 痛っ
あぁあんっ！
ずぷ
うおっ さすがは処女…
これはキツい！
キツいけど
メチャクチャ気持ちいい！
ズプ
はっあんっ
ああっ姉様っ
痛っ痛いっ…
でも何か変…変ですっ！
悪いっ
もう出させてもらうぞ
やっぱり処女のここは
たまらないっ
ドプッ
うあっ
あっあああああああっ
な 中に出されてる…！
ゴポッ
おおお…
いい具合だったなぁ
ズプッ
じゃ 次は
四女のキミで
まっ 待って…っ

まだ私…あんっ
あああぁっ！
おおっきい…！
あうっ あっ
こんな大きいの…
いっ痛っ
パチュ
パチュ
うあっ あんっ
あああっ！
ね 姉様…
力を抜いて
受け入れるんです！
すぐに
よくなります！
うんうん
美しい姉妹愛だっ
出るぞっ！
初めてなのに私っ
なんでこんなにっ
おぁぁぁぁ
ああああぁっ
ふー…
次 キミ！
っはい！
すごー
しゅ
あっ

処女三人目っ
四人目っ
五人目っ！
うおー
五人の処女まとめてなんて
初めてじゃないか？
それじゃ
どんどん行こうか！

ああっ また…！
私の中あなたのを欲しがるようになっちゃってます…！
ッ!!
ふーっ それぞれに三回は中出ししたかな
でもまだ足りない…
んっ んむっ
パチュンッ
パチュンッ
パチュンッ
パチュンッ

さっき姉様に続けて二回も出したのに…
わ 私は三回までなら続けてでもいいですよ？
もっと大きくしてさし上げますから…
んっ…
んちゅっ
わ 私なら何回でも大丈夫です…
あっ またその子に…
ああ 美少女五姉妹ハーレム
最高すぎる もっと楽しみたいなぁ
性交しながら別の子とキスするのはやっぱりなんともいえない快感だな
どうせならイリヤとも…
って あれ？
な なんでございますか？
え もうやめるんですか？

…悪いイリヤ キミのことを忘れてた
信じられない
ああ そうだよな すまなかった……
でも五姉妹は可愛いし 身体の相性もよくて 夢中になっても仕方
…そうではなくて
あのエルフさん イリヤに「大丈夫？」って聞いてきた
たぶんご主人様が イリヤを連れ回して いろんなことして…
忌まわしいとか どうでもよくなった のかもしれない

あー
それはあるかもなぁ
あのエルフの子も
一度はイリヤと
三人でヤってるはず
ハーフエルフと疑似的な
性交なんてやられたら
差別なんてどうでも
よくなるかもな
イリヤ 実はキミが
いなくなったことに
気づいてからも
五姉妹と一回ずつ
ヤってきちゃったんだ
それは本当に
あなたが信じられない
おおやっと
イリヤにも感情って
ものが出てきたな！
…おかしな話
あなたはただ欲望のままに
生きてるだけなのに
周りに女の子たちが
集まってくる
外法とか魔衣姫たち
との関係とか
それだけじゃ
ない気がする…

どうかな
でもまぁ
！
…それは
誰でもできる
ことじゃない
誰でもする
ことじゃない
座り込んでる女の子がいたら
手を差し伸べるくらいは
するよ
イリヤが
ハーフエルフだからか？
何度でも言うけど
俺には・・・関係ない
あれ？

我ながら
歯の浮くようなことを
言ってから なんだか一瞬
イリヤじゃない
ほかの女の子が同じように
膝を抱えている光景が
目に浮かんだような
…なんだろ
前にもこんなことが
あったっけ
ほかの女の子にも
同じ口説き文句を
使ったのでは？
芸がない
さすがイリヤ
グサリと刺してくるな
いいんだよ
芸なんていらない
俺が女の子を口説く
ときに使うのは愛だけだ
それに芸はないけど
反省はある
もうイリヤを
忘れたりしない
ちゃんと可愛がるし
性交もする
…そう
…情交はダメだと
何度言ったら
ちっ
どさくさに紛れて
「いい」って言うかと
思ったのに
油断できない
子だな
クイッ
どっちが…？

んっ
イリヤは何も言わず いつものように 俺の好きなように させてくれてる
この子はまだ何者 なのかもわからないが
俺はイリヤをそばに 置くことにして 手を差し伸べた
だったらもう中途半端な ところで手放すことはしない
ただイリヤが可愛いくて なんとか性交(セックス)まで持って いきたいからとか
そういうわけじゃない

なぜか俺は
この孤独な影を引きずった
ハーフエルフが愛しくて
たまらないのだ
ぷーなっ
イリヤ
あらためてやり直そう
やり直す？
何を？
もちろん五姉妹との
性交だよ
イリヤも一緒に
五人とやろう
…ちょっと見直し
そうになった
イリヤ 早まる
ところだった
相変わらず
冷静なイリヤだな
ないがしろにしちゃった分
こっからより一層
一緒に楽しまなきゃな

トッ
ガチャッ
あ シード様
トッ
うぉ！ また女だらけですごいことにまぁいつものことだよね！
ふーっ
すー
リン 帰還したよ！
すげー頑張って情報取ってきたから褒めて遣わして！
じゅぷっ
じゅぷっ
あーそうか お前情報収集に出てたんだっけ？
忘れられてた!?命がけで情報取ってきたのに！

わかったわかった
ちゃんとリンとも
性交するから
ちょっ ちょっと待ったぁ!
なんでいきなりヤられてるの!?
しばらくリンを
抱いてないからな
ほら 今日は八人も
観客がいるぞ?
うおっ こんなにいっぱいの
人に見られるとか興奮するっ
じゃなくて大事な
情報があるんだよ!
あっ あんっ
見られて興奮してるんだから
だめだって
久しぶりなんだし
今夜は二桁いけるな
そ それどころじゃなっ
そ そこにいる子
ハーフエルフじゃないの?
お よくわかったな…と
やばいっ 締め付け
すごすぎるぞっ
ひゃ っううう!
あっいきなり
出されてるしっ
ってだから
聞いてよぉ!
わかってるって
ちょっと早かったよな
すぐに二回目やってやるから
そうじゃなくて!
情報をつかんで
きたんだよ!
〝グレシア〟が
動いてるんだよ!

グレシア？
大陸最大の宗教国家だな
ぉぅ
あっ　ああっ
真面目な話をするか抱くかどっちかにしてーっ！
それで？
性交しながらでも話は聞けるよっ
あんっ　とにかく！
その子ハーフエルフっ
パンッ
グレシアの兵たちは亜麻色の髪のハーフエルフを密偵として送り込んだって
リンの術で吐かせたから間違いないよ！
パンッ
ぱんっ
ぱんっ
……っ！
次回更新をお楽しみに！